

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月16日
事業名	地域巡回型健康増進事業（おあしす24健康おおいぞ事業）	担当課・係名	スポーツ健康課 健康増進係
総合計画実施計画事業 （認定番号・事業名）	—	事業番号	13
行革大綱実施計画事業 （細目コード・事業名）	—	事業開始年度	平成23年度

2. 事業の概要

目的 （何のために）	町民の健康づくりに対する関心を高め、生活習慣病の予防を始め予防医学の大切さを普及することで、自らの健康管理を積極的に行なえる町民が増えることにより医療費の削減を目指す				
対象 （誰を・何を）	全町民				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別開催：町内24地域に向き、保健師、管理栄養士が健康教育・相談の実施 ・母子を対象とした健康教育・相談の実施 ・保健師・管理栄養士の訪問による健康相談の実施 ・国保特定健診の結果説明会の実施 ・健康づくりに関する新聞（広報）の発行 				
根拠法令・条例等	健康増進法第17条、大磯町健康増進計画				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 （決算）	平成24年度 （決算見込）	平成25年度 （予算）	
事業費	直接事業費 (a)	千円	207	233	470
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	41	46	63
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	166	187	407
	職員人数（概算職員数）	人			2.16
	人件費計 (b)	千円			11,904
総事業費 (a)+(b)	千円	207	233	12,374	
事業費内訳 H 25 年度	講師謝金：238千円 消耗品費：232千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 （指標名）		単位	平成23年度 （実績値）	平成24年度 （実績値）	平成25年度 （見込み又は計画値）
対象指標 （対象者数等）	① 前年度開催回数	回	—	163	169
	② 前年度参加者数	人	—	2,079	2,527
活動指標 （活動量）	① 現年度開催回数	回	163	169	182
	② 現年度参加者数	人	2,079	2,527	2,750
成果指標 （達成度等）	① 前年度との比較（開催数）	%	—	103.7	107.7
	② 前年度との比較（参加者数）	%	—	121.5	108.8

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	総合計画に位置づける重点プロジェクトを進めるための重点項目の1つである「健康づくり」の一環として、他市町村に先行する形で進めている事業である。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	平成23年度にスタートした「おあしす24健康おいぞ事業」については、23年度には163回開催し、延べ2,079人が参加し、24年度については、前年を上回る169回の開催、延べ2,527人の参加があり、町民の健康づくりの支援が確実に始まっていることが確認できている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	健康意識の向上に必要な事業のため、継続しての参加や参加数の増加が見られる。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input checked="" type="checkbox"/> その他
	理由	産（民間企業）、学（大学）、官（神奈川県）との様々な連携もスタートさせている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	産・学・官との様々な連携の中で、研究費・広告費等を有効に活用して事業協力を得ているため効率的に事業を展開している。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 町民への広報、啓発を行い、事業を利用する人が増えていることで健康意識が高まることで成果を得ていると考えられる。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
町民の健康意識の向上、自己の健康管理を積極的に行なえるような町民を増やしていくための取り組みは、町民に魅力的なものとなるような運営が必須である。対象とする年代、見合った内容、方法を検討しながら、広く行っていく必要がある。
② 平成26年度に着手する事項
産・学・官との連携による事業展開を継続する中で、住民の健康課題解消のため具体的な方向性を明確にしていく。
③ その他（課題、調整事項等）
魅力的な内容となるよう、町民の声を聞き取り入れていく必要がある。また、民間なども含めた関係機関ともに取り組みるところを模索していく。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

産・学・官で取り組んだ平成25年度の「おあしす24健康おいぞ」におけるロコモティブシンドロームの予防の取り組みを振り返り、平成26年度は、町民への周知を徹底する。生活習慣病予防・重症化予防に係る教室は、国保主管課（町民課）と連携を取り、特定保健指導との調整を図りながら開催する。
